資料９（参考資料２）

八千代市立みどりケ丘小学校
ＲＣ造３階建て
木質インフィルシステム

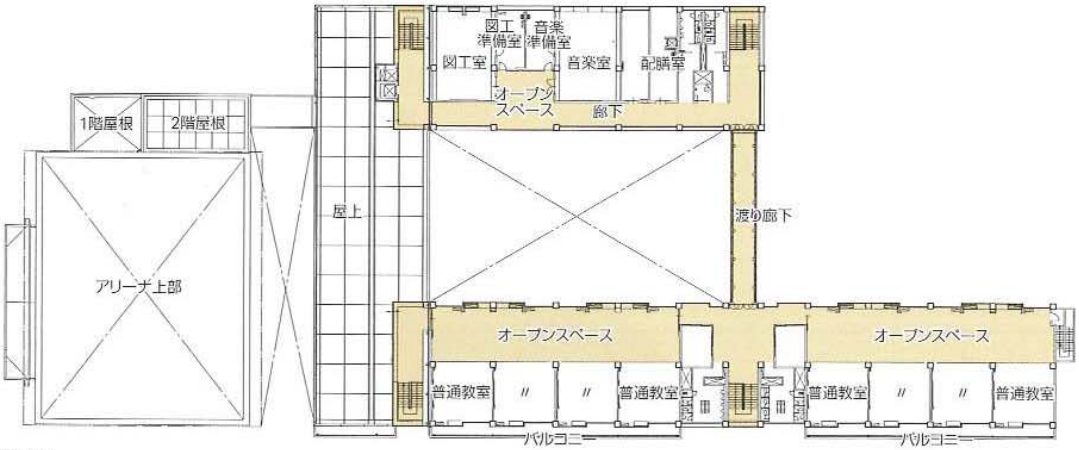
所在地：千葉県八千代市吉橋西芝山２３５７
設計者：現代計画研究所・根本
　　建築設計事務所共同体
竣工　：２０１０年3月

面積関係諸元
敷地面積：２６，１０７㎡
延床面積：　９，２５９㎡
建築面積：　４，７９４㎡
容 積 率：　　３５．５％
建 蔽 率：　　１８．４％

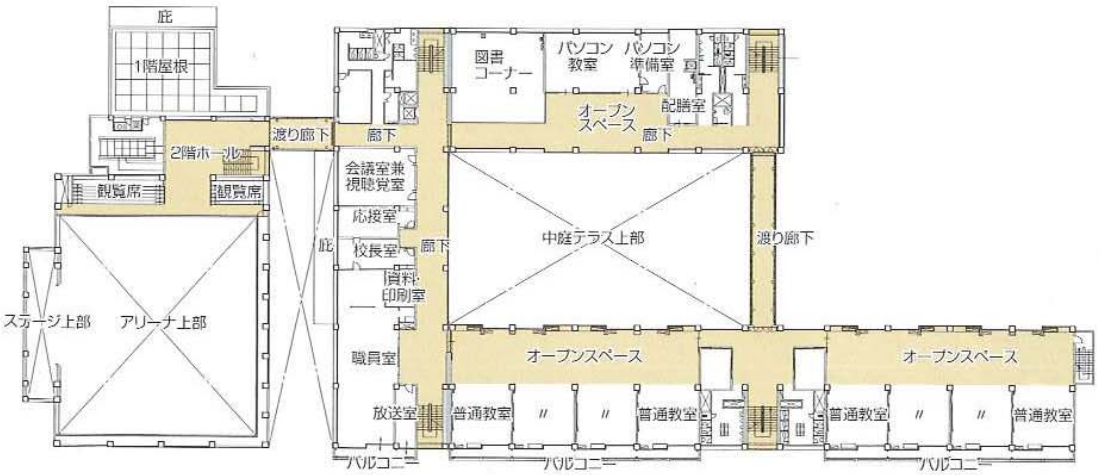
南側全景

中庭ウッドデッキ

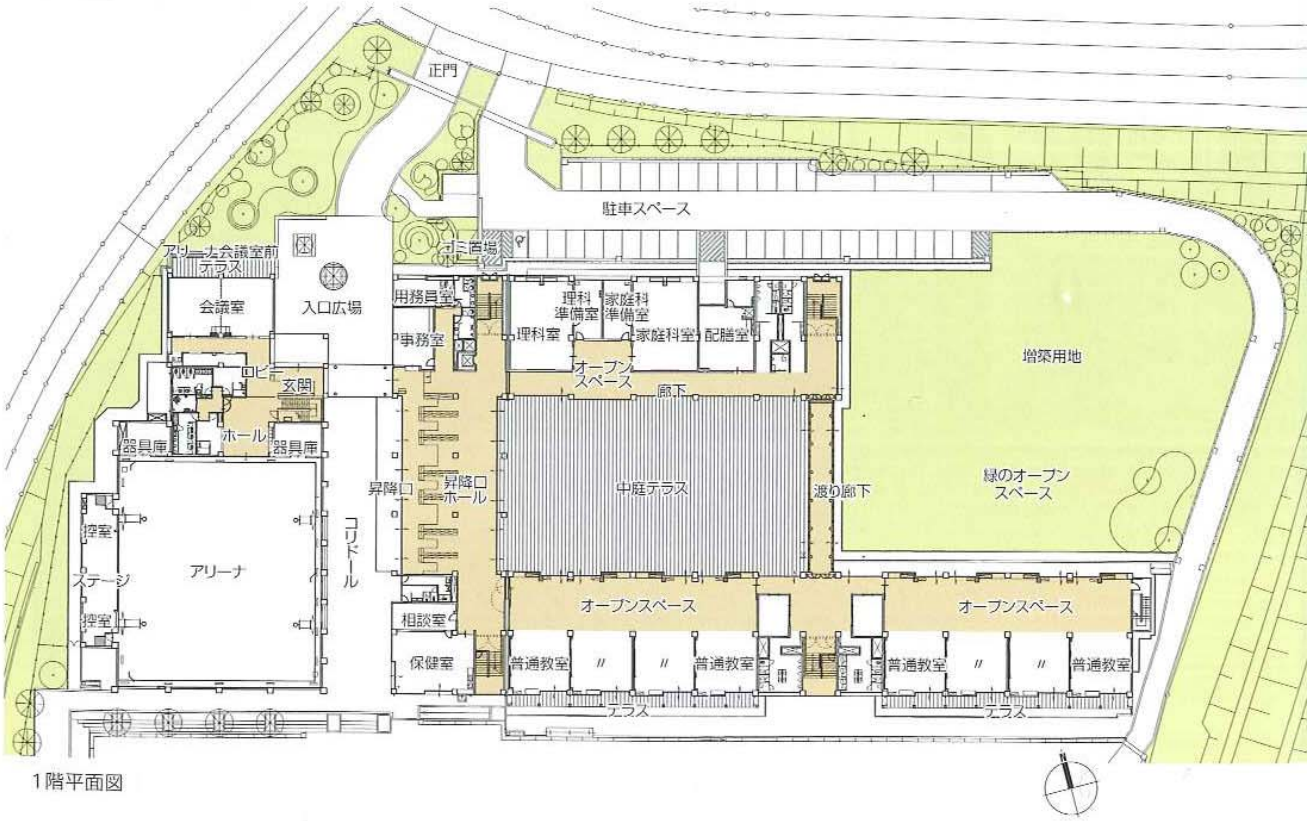
校舎北西側メインエントランス



3階平面図

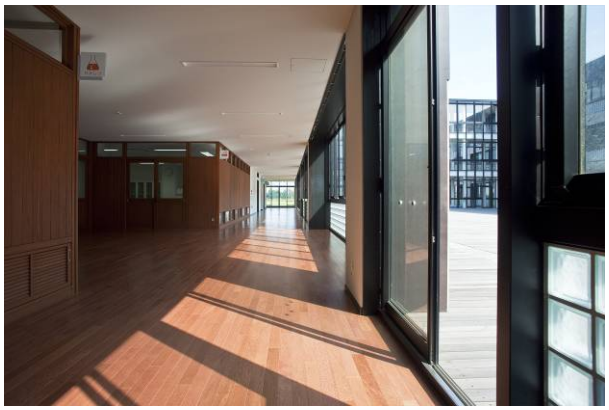


2階平面図



1階平面図

図書コーナー



特別教室ゾーン　オープンスペース

最上階オープンスペース

トイレ前のホールと児童更衣室

１～２階のオープンスペース

最上階普通教室

体育館内部

昇降口

設計コンセプト

1)新しいニュータウンにふさわしい学校

・新しいコミュニティの中核として、校舎と敷地全体が地域の原風景を思い起こさせるよう、敷地全体で様々な空間が楽しめ、歳月の経過に耐え、場の味わいを増していく建物計画。

2)成長する緑の丘

・敷地と道路の高低差のため生じる広大な法面を在来種の苗木植栽で斜面緑地として復元し、アースカラーを基調とした校舎や屋根なみが緑と調和する風景を作っている。

3)中庭を核とした回遊性と一体性

・校舎棟は中庭を中心としてロの字型にパブリックスペースを繋げる事で回遊性と一体性を確保している。

・中庭はウッドデッキの広場とし、図工･理科の野外学習、朝礼や集会、遊び場など様々な活動の場であると共に、中庭を囲む開口部を通してその活動の気配が感じられる身近な空間づくりの場となっている。

4)子どもの目線にたったスケールと素材

・３階建ての校舎ではあるが、柱型やバルコニーの凹凸、色彩による分節により「2 階建て＋屋根」としてイメージされるデザインとしている。

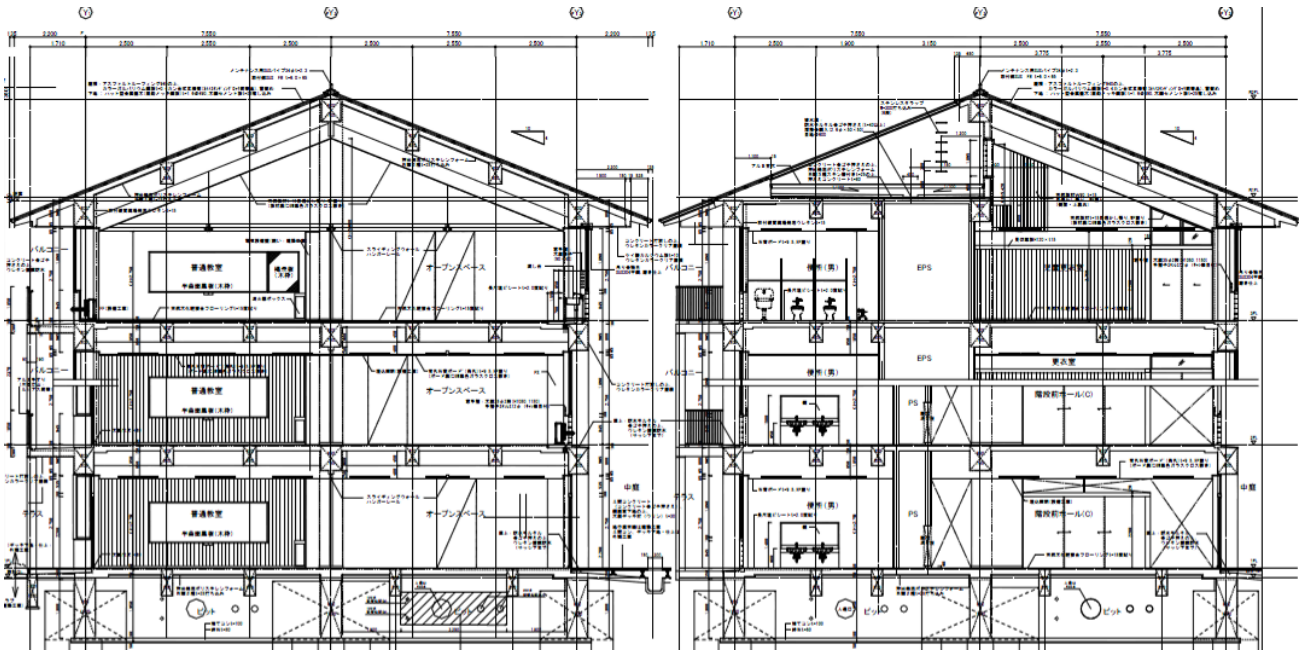
・高学年教室や音楽室などは、勾配屋根を活かした高さのある空間とするなど、それぞれに適した空間ボリュームを計画している。

・千葉県産や茨城県産の杉材を間仕切り壁や勾配天井、体育館の内壁などに使用し、暖かみのある素材感と共に可変性や衝撃吸収性を確保している。

防火の考え方

・ＲＣ造の耐火建築物として、防火戸により面積区画を行っている

・校舎棟の内装木材は内装制限なしだが、体育館は 2 層吹き抜けのため不燃木材による内装。



教室棟矩計図